

＜社会福祉振興基金 地域福祉活動モデル事業 助成団体一覧(平成25～30年度事業)＞

平成25・26年度地域福祉活動モデル事業

実施団体名	事業名	事業概要	25・26年度 事業費総額	25・26年度 交付決定額
NPO法人 ファミリーサポート 愛さん会	地域支え合い拠点 「わった一家」事業	住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるよう、助け合い支え合う地域づくりを行う。1日でも1時間でも心地よく居ることができる地域住民の居場所の提供、生活困窮自立支援事業の一環である住居喪失者への一時宿泊等。「わった一家」を利用しての定期的な料理教室や子育て相談、介護者に関する相談会を行う。また、家に閉じこもりがちな高齢者、障害者、地域の方々が互いに触れ合う「場」とするため、市や自治会と連携し事業を推進していく。「わった一家」を拠点としながら子育て世帯や介護世帯、生活に困難を抱えている人たちの支援をすると共に、その支援をするサポーターに対してのサポーターケアリング推進講座を行う。	1,328,000	942,000

平成26・27年度地域福祉活動モデル事業

実施団体名	事業名	事業概要	26・27年度 事業費総額	26・27年度 交付決定額
特定非営利法人 かなえ	せせらぎ公園 サロン化事業	高齢者が明るく元気に暮らせる地域、生徒児童がのびのびと心身ともに健康で暮らせる地域、障がい者が安心して自立した生活を送れる地域、住民が共に支え合おうという意識を持てる地域社会づくりを目指す。 ・月1回の実行委員会議 ･自治会、福祉関係等との連携 ･高齢者、児童への参加者募集 ・サロン化事業⇒週1回、近隣の高齢者等がせせらぎ公園に集い、ノルディックウォーク、美化活動、レク活動、清掃活動等を実施し、高齢者等の健康増進、役割づくり、生きがいづくり、仲間づくりをめざす。	1,468,000	1,000,000

平成27・28年度地域福祉活動モデル事業

実施団体名	事業名	事業概要	27・28年度 事業費総額	27・28年度 交付決定額
一般社団法人Kukuru	沖縄県内宿泊施設の バリアフリー情報冊子 作成事業	宿泊施設情報でバリアフリールーム(ユニバーサルルーム)の整備が進む中、実際の室内段差や浴室・トイレの状況等の詳細情報の掲載が少なく、個々の障害状態に合ったホテルを探すことが困難である。多くの障害者がかんたん旅を楽しむことができるような環境を整える事を目的として、情報誌及びホームページでの情報公開を行う。	2,457,000	1,000,000
社会福祉法人 宮古島社会福祉協議会	宮古島在住外国人 支援事業	宮古島で暮らしている外国人やその家族等が安心して暮らせる環境づくりと人権・福祉向上を目指した支援活動を目的とする。 (1)宮古島市在住外国人の実態調査(2)多文化共生のための地域交流事業(3)「日本語教室」開催 (4)宮古島市在住外国人の人権・福祉シンポジウム開催 (5)宮古島市在住外国人の活動支援 (6)宮古島市在住外国人の防災学習と訓練	800,000	640,000
社会福祉法人 西原町社会福祉協議会	福足サービス事業 (移送サービス)	身近に身内や協力者がおらず、公的制度(高齢者・身体障害者移送サービス等)を受けられないボーダーラインの方を対象として、地域ミニデイサービスや公共機関の利用、病氣治療の送迎を通して、地域と連携・協働する体制作りへ繋げていく新たな福祉ネットワークを構築する事で対象者が幅広く外出できるようにサービスの構築を行う。 ①地域自治会や民生委員児童委員、町民への運転福祉協力員・車両登録を募集し、対象者を地域の身近な方で支援できるよう、福祉ネットワークの構築を行う。 ②住民同士が支える移送サービスである「福足サービス」をコミュニティーソーシャルワーク事業の1つの地域福祉のポイントとして地域に啓発し事業を進めていく。	2,350,000	1,000,000

平成28・29年度地域福祉活動モデル事業

実施団体名	事業名	事業概要	28・29年度 事業費総額	28・29年度 交付決定額
社会福祉法人 伊是名村社会福祉協議会	くるま～る移送支援事業	身近に家族等の身内がなく、公共交通機関を利用して医療機関や金融機関及び買い物等での外出が困難な者を地域の運転協力員により移送支援サービスを提供する。外出を促すことにより、引きこもりや閉じこもり防止に寄与し、高齢者が安心して生活が送れるように支援する。	1,430,000	1,000,000
特定非営利活動法人 Okinawa Hnads-on NPO	愛守羅針盤 (かなむいからはーい) SOS総合救済ネット ☆通称:カラカラSOSネット	<p>日本全国で「認知症行方不明者一万人超！」となっており、各地でSOSネットワークが立ち上がっている。しかし、公的機関担当者の移動や市町村合併による機能の脆弱化、週末・祝祭日や午後5時以降の行方不明者情報の対応不足、住民への啓発活動の不足など、ネットワークはあっても機能していない地域が多いことが懸念されている。沖縄県内においても過去2年間に認知症行方不明者が68名になり、地域で見守るためには、よりきめ細かい広域で連携できる情報伝達(通報⇒連絡⇒捜索⇒発見⇒保護⇒支援)の仕組みをつくることが必要不可欠である。そのことにより、SOSネットワークのコア(中核)となりハブ(中心)となり、地域のネットワークを育てていく広域分野からなる先進的かつ総合的異業種チームを立ち上げていく。</p> <p>①シンポジウム・模擬訓練・見守り機器披露会</p> <p>②認知症対応家族志縁劇しまくとぅばキャラバン隊派遣</p> <p>③愛守羅針盤(カラカラ)バリアフリーMAP作成</p> <p>④愛守羅針盤(通称: KARARAJI) SOSネット (FMコミュニティラジオにて認知症行方不明者・行方不明者捜索協力)</p> <p>⑤肝愛さ果報守データバンク(認知症家族記録と記憶の役割サポート)</p>	1,250,000	1,000,000

平成29・30年度地域福祉活動モデル事業

実施団体名	事業名	事業概要	29・30年度 事業費総額	29・30年度 交付決定額
社会福祉法人 浦添市社会福祉協議会	ふれあい「100円食堂」オープン事業	高齢者の「買い物難民」の増加や交通などの移動を要因とした引きこもり問題、一人親世帯の増加はじめ、非正規雇用者の増加、精神疾患や多重債務などの複合した課題を抱えた方々へのアプローチとして行政などが行うフォーマルサービスでは限界が生じており、地域の「共助」に委ねられている状況下にあります。そこで、新たな支援体制や支援ネットワークづくりを目指し、精神疾患やひきこもり、発達障害などの要因で就労に至らない稼働年齢層の方々が中心となり、食事や見守りなどの支援が必要な高齢者を支える仕組みやネットワークづくり、就労訓練などの「場」作りを目的に事業を推進する。	852,000	682,000
健康づくりボランティアサークル たんぽぽ会	ゆいまーる拠点 つきしろカフェ事業	近年、認知症者及び独居高齢者、生活困窮者が増加している。そこで、地域に気軽に集える場と見回り体制、住民同士の交流、関係性を構築し、住民同士で支えあう意識を向上させ、地域に生活する住民にとって、いつまでも健康を維持し、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指す。	1,588,000	1,000,000
童家 みちすー	ありのまま生きる力を高める場所	子どもたちの生きる力をエンパワメントすることを目的に、共に食べる食事・レクリエーション・アート・ソーシャルスキル&ペアレンティングを行い、家族や子どもの孤立をなくし、家庭や学校に居心地の悪さを感じている子ども達が、別の世界でありのままの自分を発揮し、「嫌われている自分」から「価値のある自分」の再発見をする。また、生きづらさを感じている保護者とともに、子どもの様子を見守りながらトリプルPやMy tree program などのペアレンティングを実施することで親子関係の改善も目指す。	1,973,000	1,000,000